次年度に向けた方策

令和７年度を踏まえた課題	令和８年度に向けた学校経営改善策
【１】学校の重点目標 ① 主体的に考え、課題解決に努める子 ・ICT を活用した調べ学習を、より深い探究的な学びへと発展させるとともに、他者の意見を踏まえて課題解決へとつなげる力のさらなる育成を期待したい。 ・保護者と児童の結果にやや差が見られた。児童が学校で培っている主体性や課題解決への姿勢が、家庭においてもより実感されるよう指導や発信を工夫することで、日常生活に繋がっていくことを願っている。 ②粘り強く最後までやり遂げる子 ・児童自身が取り組んでいる努力や達成感を、振り返りの場面などを通して言語化し、家庭とも共有するなど、粘り強く取り組む姿勢がより一層定着し、家庭でも実感できるようになることを願う。 ③健康な心や体を自らつくろうとする子 ・あいさつは一朝一夕で身につくものではなく日常的な積み重ねが結果につながるものであるから、さらに地域や家庭に伝わるよう引き続き継続的な取り組みが大切である。 ・体力づくりに対する学校の取り組みが前向きな意識につながっていることがわかる。しかしながら、近年、児童の体力低下の指摘があることから、引き続き積極的な取り組みを望みたい。 ・高学年において読書習慣の定着が課題と思われたので、今後も学校全体で読書活動の工夫を継続し、読書習慣の定着につながる取り組みを期待する。	【１】学校の重点目標 ① 主体的に考え、課題解決に努める子 ・授業の中に ICT を活用する場面を可能な限り設定し、自分の考えと友達の考えを比較したり、参考したりして学習を進める時間を確保して参ります。 ・「学校だより」「学級便り」の配信や、学校公開、個人面談などで学校での児童の変容や頑張りを家庭へ伝えることにより、学校と家庭で連携して児童の育成に努めて参ります。 ② 粘り強く最後までやり遂げる子 ・①2 つめの改善点と同じ。 ③ 健康な心や体を自らつくろうとする子 ・引き続き、生活目標や「あいさつ運動」で取組を継続して参ります。 ・中町ランドウイークなどで、継続して取り組んで参ります。 ・高学年においては、可能な限り図書の時間を確保して読書習慣が定着するよう努めて参ります。
【２】体験的な学習について ・学校では、キャリア教育の視点を意識しながら、日々の授業や特別活動において体験学習を積極的に取り入れていた。今後も、地域との	【２】体験的な学習について ・今年度も引き続き、地域との連携を大切にした学習計画を立て実践して参ります。

連携を大切にしながら、児童が地域の良さに触れ、地域を大切に思う心を育む学びが一層充実していくことを期待したい。	
【学校からの情報発信について】 ・情報ツールによって差が生じていると判断できる。今後は、有用な情報ツールを適切に活用し、日々の教育活動や体験的な学習のねらいや、学習の様子がより具体的に保護者に伝わるような工夫を重ねていってほしい。	【学校からの情報発信について】 ・校外学習や出前授業のねらいを明確にして、保護者に発信して参ります。また、行事においては結果だけでなくそこに至るまでの努力や変容を保護者に伝えるよう努力して参ります。